



しちりば家族
まっちょいびんど



〒904-0323
沖縄県読谷村字高志保1046番地
TEL 098-958-1130
FAX 098-958-1194
yomitan@churamura.com



- 教育民泊（修学旅行など）
- 交流民泊（一般向け・団体・学校・企業）
- 外国人観光客向け交流民泊
- MICE（会議・研修・イベント・各種手配サポート）



はじめての民泊…
どんな出会いがあるか
楽しみだトン!

「よみたんブランド」
パワーアップキャラクター
よみとん



ごあいさつ



読谷村 村長
石嶺 傳實

読谷村(よみたんそん)は、沖縄本島中部、西海岸に位置し、東シナ海にカギ状に突き出た半島で、人口4万人余の「日本一人口の多い村」です。東には緑の山並みが連なり、西は東シナ海に面し、南は比謝川を境として、北は景勝の地「残波岬」に囲まれた美しい自然と豊かな伝統文化に育まれたところでもあります。

かつての琉球王国時代、中国(明)との進貢船貿易により琉球には多くの文化文物がもたらされ、独特の文化圏を形成してまいりました。読谷村には、歴史史跡として世界遺産に登録された「座喜味城跡」の他に、「喜名焼」に代表されるヤチムン(焼物)や読谷山花織(織物)等の伝統工芸や各地の民俗芸能が継承され、読谷の大地に深く根ざしております。また、読谷村は、沖縄文化発展の一翼を担ってきた、琉球三線音楽の始祖として讃えられる赤犬子ゆかりの地としても知られ、歴史と伝統文化の息づく地域であります。

歴史の一頁として、悲しくも第二次世界大戦で米軍の上陸地点となり、空と海からの猛爆により、読谷村は多数の尊い人命や財産を失い焦土と化し、さらには当時の軍国主義教育の影響を受け洞窟(チビチリガマ)避難者の「集団自決」と言った悲劇が起きました。沖縄戦から半世紀以上が経った今日、戦跡へは村内外の児童生徒の平和教育、歴史学習の場として訪れ、永久平和を願う県内外の修学旅行生は絶えません。

戦後の一時期は村域のほとんどが米軍基地として接収されておりました。その後、日本復帰(1972年)まで米軍統治下に置かれ苦難な時代を過ごすこととなりましたが、村民が生まれ育ったふるさと復興のために血のにじむ努力が重ねられ、その成果は着実に実を結び、今日の発展の姿を見たのであります。

さて、沖縄県の観光客数も984万人を突破し過去最高となり、それに伴い修学旅行の人数・校数とも年々増加傾向にあります。これまで平和学習が主だった修学旅行も、新たに体験滞在型として民家体験学習泊(民泊)が注目を集め、本村でも平成18年度1校を受け入れ、平成20年度から「よみたん民泊協力会」を設立し、行政も一体となって事業の推進に関わってまいりました。

読谷村は、ふれあい豊かなコミュニティと伝統芸能が息づく地域で、昨今都会では失われつつあると言われている人と人との心の交流や自然豊かな地域ならではの家業体験もできる村です。平成31年度は、修学旅行91校、約16,000人の来村が予定され、ありのままの読谷村を感じていただくことによって民泊体験の素晴らしさが年々評価され、離村式では生徒さんが「帰りたくない」と涙を流し感動の旅立ちに感極まる場面が多々あります。短い時間ではありますが、家族の一員として過ごした経験は深い絆で結ばれ、その子どもたちが成長し再び観光で本村を訪れ「ただいま」「おかえりなさい」と挨拶を交わす家族も増え村内には明るい話題に笑みがあふれています。

本村にて皆様方が、心温かな時間をすごされますことを心よりお待ちしております。



よみたん民泊の思い^{うむ}

いちゃりば家族

いちゃりばちょーでー(行き交えば兄弟)
沖縄にはこんな言葉があります。
自然の中で深呼吸したり皆で笑いあったり、
出会えて心が通って心が丈夫になる時間を
一緒に過ごしましょう。



命どう宝

戦争でたくさんの尊い命を失いました。
平和が大切。元気が大切。
明るい笑顔で皆がすごせますようにと平和に感謝し、
命に感謝し精一杯生きることの大切さ、
「命こそ宝」とは沖縄の平和を祈る心です。



「艦砲めくえーぬくさー」歌碑



さとうきび畑 歌碑



カメーカメーおばあの
チムグフル

よみたん民泊協力会 会長
津波古 菊江

民泊の出会いから数年が経った
今でも、「おじい、おばあ大好き!」
と近況を知らせる手紙が届きます。
そんな彼女も今は立派な社会人、
“会いたいなあ”の言葉にはちむが
なさ(愛おしさ)を感じます。
よみたん民泊は歌と三線“ちむ美
らさ”の人間力で皆様をお迎えいた
します。



ちゃー笑いかんてい
(いつでも笑って)

よみたん民泊協力会 幹事長
古波倉 正

苦しい時ほど笑顔をわすれては
いけない。我ったーおばあはそう話
していました。
沖縄には、柔らかな心と辛抱強
い心がある。
教科書に載っていないのは、ど
んな事だろう?探しに来て!!



はばたけ若者

ちゅらむら読谷 代表
大城 光

あなた達は日々、知識を取り入れ
る努力をしている。
その知識は、様々な体験をするこ
とで“じんぶん”(知恵)になる。
この村での出会いは、ほんの少し
のきっかけだけど、この先も多くの
体験を重ね“じんぶん”を活かし、
未来へ向かって大きくはばたけ、に
っぽんの宝よ!



入村から離村まで

選べるプラン

●2泊5食 ●1泊3食 ●日帰り 昼食付(4時間～)

楽しい旅が
待ってるトン!



ワクワク! ドキドキ! 緊張の入村式

かつて、アメリカ軍が使用した読谷補助飛行場の真ん中に建つ、読谷村役場。地道な村民運動により返還を勝ち取った平和の象徴。赤瓦と青空のもとで、受入民家と出会い、民泊のはじまりです。

入村式の流れ

- ① 読谷村より歓迎のあいさつ
- ② 学校引率者代表あいさつ
- ③ 生徒代表あいさつ
- ④ 受入れ民家紹介 ～生徒と民家の対面～

生徒による
司会進行も
いい経験に



帰りたくないよ～! 離村式へ

離村式の流れ

- ① 生徒代表あいさつ
- ② 学校引率者代表あいさつ
- ③ 受入民家代表からおくる言葉

みんなと
お別れは
さみしいトン



農作業体験



さとうきび刈り体験



農業体験(人参収穫)

沖縄料理体験



ゴーヤーチャンプルー



沖縄そば

沖縄のお菓子作り



サーターアンダギー



紅イモパイなど

村内巡り



世界遺産 座喜味城跡



残波岬



のぼり窯



残波大獅子

琉球文化体験



琉装体験



三線体験

のんびりふれあい



やぎえさやり



貝殻シーサー



読谷村 平和学習プログラム



「歌」と「一人芝居」

読谷村在住、女性シンガーによる沖縄戦証言を基にした、心の琴線に触れる「平和へのメッセージ」



ライブ 三線演奏

カンカラ三線から始まった戦後沖縄民謡に耳をかたむけ、当時の情景を想像してみる

フィールドワーク

米軍上陸の地「読谷村」のガマ、史跡を平和ガイドと一緒に巡り



チビチリガマ



米軍上陸の碑



さとうきび歌碑



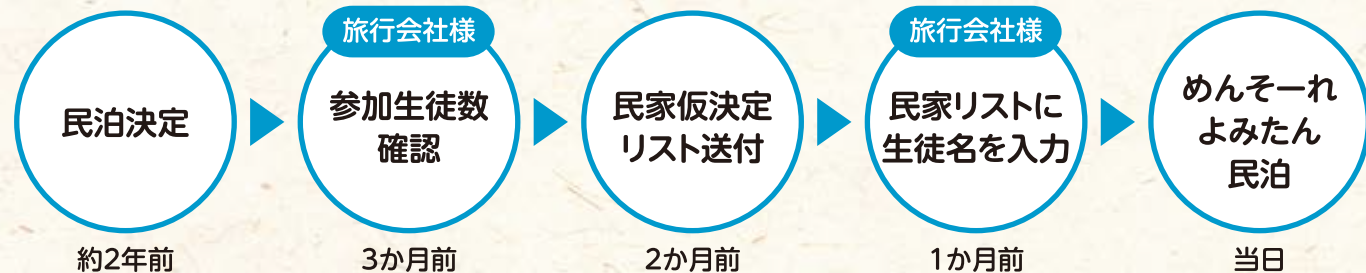
ユンタンザミュージアム



ユンタンザミュージアム
(チビチリガマ内部再現)

生徒の皆さんが見て触れて感じ「考える」
読谷村内での平和学習プログラムをご提案いたします。

民泊までの流れ



緊急時フローチャート

民泊受入事務局：ちゅらむら読谷
読谷村高志保1046番地 TEL：098-958-1130

読谷村内の病院

病院名	診療終了時間	住所	電話
まつしまクリニック	平日19:30(水除く) 土曜16:00	読谷村瀬名波894-2	098-958-6888
ライフケアクリニック長浜	平日17:30(月水金) 火木はAMのみ 土曜17:30	読谷村長浜1530-1	098-982-9000
古堅南クリニック	平日18:00 火水土はAMのみ	読谷村古堅923-2	098-921-5677
よみたん診療所	平日17:00(水休み) 土曜AMのみ	読谷村都屋179	098-956-1151
たいら眼科	平日土曜17:30 金はAMのみ	読谷村座喜味1917	098-956-0055

上記以外の診療所もあります。

総合病院 24時間救急外来

病院名	読谷村から	住所	電話
中頭病院	所要役20分	沖縄市登川610	098-939-1300
県立中部病院	所要役30分	うるま市宮里281	098-973-4111

消防・警察など関係諸機関

関係機関	住所	電話
ニライ消防 読谷消防署	読谷村波平920-1	098-958-2119
嘉手納警察署	嘉手納町嘉手納560	098-956-0110
中部保健所	沖縄市美原1-6-28	098-938-9701

①事件事故 急病・体調不良が発生

緊急を要する場合は、まず☎110番・119番

②民家よりちゅらむら夜間担当者へ連絡

③旅行社担当者を通じて担当先生へ伝達 同時に、緊急車両が本部へ

先生から直接民家へ連絡し、生徒と状況確認していただくこともあります。

④本部から先生同乗の上、民家へ

⑤民家到着 状況確認後、必要であれば、病院へ

夜間担当スタッフ1名
緊急車両1台
24時間体制

安心だ
トン!



●賠償責任保険について

①施設所有者(管理)賠償責任保険／生産物賠償責任保険

●対人賠償1名あたり限度額:1億円 ●1事故(期間中)あたり限度額:3億円

●対物賠償1事故期間中限度額:1000万

②受託者損害賠償責任保険

●対物1名・3万円／1事故10万円まで 期間中／50万円まで 1事故あたり免責3千円

※民泊中における、民家の過失による事故に適用されます。その他不慮の事故については、学校・旅行社の傷害保険適用となります。



安心・安全な民泊のために ～年間研修プログラム～

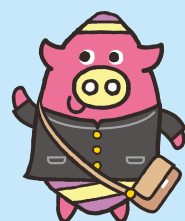
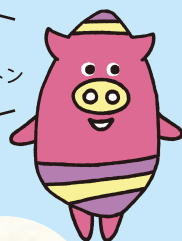
救急救命講習 防災・消火訓練 食品衛生講習 料理講習 村内視察



嘉手納警察署より
防犯ボランティア団体
として委嘱

思い出日記

思い出
いっぱいだトン



みんなの声。みんなの思い。
ビックリしたり 泣いたり 笑ったり
思い出が増えた修学旅行

生徒の声 //

間違ってお皿を落としちゃった時、
「よかったよ、ケガがなくて」って、
おばあに言われた。
叱られると思っていたのに…(笑)



生徒の声 //

「ミサキ!」って名前と呼ばれて、
最初は正直驚いた。
でも、ネーネーが言ってた。
「家族だもん、当たり前だよ」って
私にも沖縄の家族が増えました。



生徒の声 //

方言。何言ってるかわからないけれど、
おじいやおばあ心のやさしさだけは、
よく伝わってきて、帰る時泣けた。



生徒の声 //

戦争が終わったのは、
たった70年前のことだって
家に帰ったら、うちのおじいちゃんにも
聞いてみようと思った。



生徒の声 //

波の音、鳥の声、ざわわ、...
いつもと違う音。
いつもと違う時間の流れ。
今度はお父さん、お母さんも
連れてきてあげたい。



生徒の声 //

空が広くてびっくりした。
「ウワーツ」って畑で叫んでみたら、
スツキリした



保護者の声 //

心配していた民泊から帰ってきて、
ずっとしゃべっているもんだから、
驚きました。
普段は無口な子なのに。



お世話になった読谷村の家族の皆様
拝啓

今日の沖縄修学旅行の実施に向け、生徒は事前
一ヶ月、沖縄に関する授業と学習を、主に以下の
3点の目的を定め、心得を記していました。
①第2次世界大戦や戦争で亡くなった沖縄を語り、戦争を
平和に終わらせ、現在も基地問題で悩む沖縄を学ぶ
(人権平和学習)

6月5日

先生の声 //

入村式であんなにつまらなそうなの？
緊張した顔だったのに
離村式では笑い泣き?しながら
「先生! 帰りたくない!!」
民泊で何があったの?



先生の声 //

バスで出発の別れ際、
みんな名残惜しくバスに乗らず、
出発させるのが大変でした



民家の声 //

買い物の手伝いで、
重い物を持ってくれたり、
みんなとっても優しい子たち
また会いたいヨ。



民家の声 //

入村式で目立っていた
やんちゃそうな生徒。
受け入れてみたら、心がとてもきれいで、
逆にこちらが学ばされたよ。



民家の声 //

生徒全員でしかせてくれた
離村式での校歌。
うちに泊まったあの娘達が、
一番上手に歌ってたよ



民家の声 //

現代っ子はあまり話したがらないって
聞いていたけれど、
そんなことないよー
皆、話が上手で楽しいさ〜♪



民家の声 //

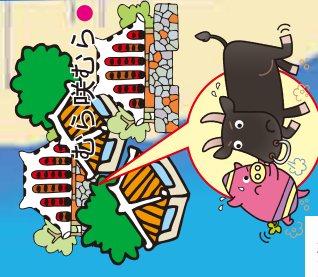
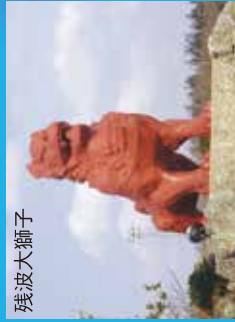
誰にも言えない心の悩みを、
夜にこっそり打ち明けられたね。
おばあは何も出来ないけれど、
ずっと見守っていて
あげたいと思ったさ〜。



①沖縄の自然、文化、歴史と学習し、沖縄に住む人々の
生活に触れ、生活体験の中で自分たちの見方考え
(多文化共生学習)
②集団行動の中で、ルールを守り、仲間と協力し、友情を
深める (集団学習)
皆様方には、1ヶ月お礼を申し上げます。また、
帰校後の生徒の表情、日記から、この修学旅行の3日間
果てに、彼ら彼女らに、前に進むとすまや、ひびき伝えている姿、
これほど、うらやま加減に歩いていく姿、少し願わくは、
以前より、自分自身で、学校生活と向き合える姿と
みられます。彼らは、沖縄の貴重な経験と、生きた学び、
大切な成長として吸収し、消化吸収し、今、学習の取組んで
います。
未来の日本と向き合う子ども達への教育に、心から、感謝の
言葉を、本当に、感謝の気持ちで、いっしょです!!
どうも、今後の未来に、宜しくお願い致します。



図内案読谷



沖縄で
体験できること
全てが読谷村に!

- 歴史・伝統文化体験 ● ふれあい交流(民泊)
- 平和学習 ● マリン・自然環境学習

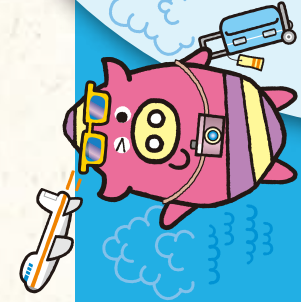


ここだよ！
お説谷村は



・「穀村」は、

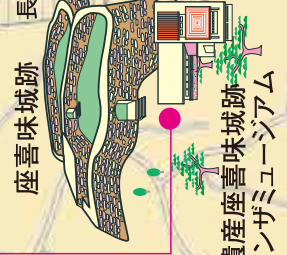
- 日本一人口が多い村
- 自然の海岸に囲まれた地形
- 北部・南部方面へのアクセスにも便利



本物の 沖縄ローカルを 体験してみませんか？

…とは
民衆
を

ホテルや旅館のような宿泊施設ではなく、読谷村のごく普通の一般家庭のお家で「沖縄の暮らし」を体験します。沖縄料理を作ったり村内を散策したり、家庭ごとの体験と家族との交流を楽しみましょう！



渡具知ヒ一子

嘉手納町役場